

## そらべあスマイルプロジェクト そらべあ発電所寄贈記念式典 福島県いわき市「船尾保育園」

12月16日、福島県いわき市の「船尾保育園」で、そらべあ発電所の寄贈記念式典が行われました。今回の寄贈&設置は、ソニー生命保険株式会社からの寄付金によるもので、同社がサポートする発電所は4基目となります。

この日式典に参加した園児さんは75名。そらべあの物語の読み聞かせには、みな真剣に耳を傾け、手回し発電体験では、扇風機のファンが回り出すと大興奮の様子でした。

そして、発電所寄贈のお礼として、子どもたちが披露してくれたのが「おゆうぎフラダンス」。というのも、いわき市は“フラガール”の生まれた街。かつて石炭の一大産地だった同市でしたが、昭和40年頃から石炭から石油へのエネルギー転換が進み、炭鉱の閉山が相次ぎました。そんな街を救うために作られたのが「常磐ハワイアンセンター（現・スバリゾートハワイアンズ）」でした。そんなわけで、いわき市にはフラダンスが根付いているのです。

こうして地域の危機を乗り越えてきたいわき市でしたが、2011年、震災による原発事故の影響を受け、またしても国のエネルギー政策に翻弄され

ました。今回誕生したそらべあ発電所は、火力や原子力と比べると小さいですが、自由で自立した発電所です。その小さな種が、地域の、そして子どもたちの再生可能エネルギーへの理解の芽生えを育む一。これこそがスマイルプロジェクトが目指す姿です。

今回より、そらべあ基金応援団であるNTTスマイルエナジーの太陽光発電遠隔モニタリングサービス「エコめがね」の導入を開始しました。エコめがねは、スマートフォンやタブレットなどから、いつでもどこでも太陽光発電の発電量を確認できるサービスです。発電の実績や節電の効果がわかりやすくグラフで表示されるだけでなく、毎月の発電量を診断したレポートが発行されるので、故障やトラブルの早期発見もサポートします。



そらべあ基金  
一同より



### そらべあ基金に ご支援・ご協力していただいております皆様へ

新年あけましておめでとうございます。2015年は戦後70年の節目となり、当団体としても活動の柱の一つである全国の幼稚園保育園に太陽光発電システムを寄贈する「そらべあスマイルプロジェクト」によるそらべあ発電所が記念すべき50基を達成する節目の年となります。2007年産声を上げた「そらべあ」君たちともに立ち上がった当団体は企業の皆様、個人の皆様のご協力・ご支援により、これまで再生可能エネルギーの普及啓発、環境教育、東日本大震災の復興支援などを行ってまいりました。専門的な話となりますが、今年6月より企業は、持続的な成長と企業価値の向上のための施策強化に努めることとなります（コーポレート・ガバナンスコードの策定）。NPO法人である当団体もそうした動きに習い、更なる活動の充実化・ネットワークの構築を行い、これまで以上の活動を行ってまいります。次世代の子ども達の為、フェーズが変わる「そらべあ基金」の活動をこれからもご支援、ご協力のほどよろしく願います。

2015年1月 そらべあ基金代表理事 市瀬慎太郎

### そらべあサポーターズクラブ

プレミアムサポーター：ソニー損害保険(株)  
オフィシャルサポーター：ソニー(株)、ソニー生命保険(株)、ソニーマーケティング(株)  
サポーター：(株)ソニーピクチャーズエンタテインメント、(株)毎日新聞社  
応援団：9社  
個人・ファミリーサポーター：58名  
(2015年1月20日現在)

読み終わったら、捨てずに回し読みしてね。



### そらべあ便り vol. 21

2015年1月発行  
編集：加藤聡  
デザイン：小池隆夫

NPO 法人そらべあ基金  
〒105-0004  
東京都港区新橋2-5-6  
大村ビル8F  
TEL：03-3504-8166  
FAX：03-5157-3178  
<http://www.solarbear.jp>



## そらべあ発電所50基 達成記念パーティーを開催しました！

2014年11月20日、そらべあ発電所の50基達成を記念するパーティーが、毎日新聞東京本社毎日ホールで開催されました。

第1号の「そらべあ発電所」が完成したのが2008年10月。以来、毎年のように全国に「そらべあ発電所」は増え続け、今年度、ついにその数は50基に達します。ご支援いただいた企業や個人サポーターのみなさまへの感謝と、喜びを分かち合うためのパーティーは、あいにくの雨模様にも関わらず、多くの方々にお越しいただくことができました。

そらべあ基金の6年間の活動を映像で振り返ったほか、クラリネット奏者の田中正敏さん、エコマジシャンのミヤモさん、ミュージシャンの佐藤タイジさんが、この日限りのパフォーマンスを披露。さらには、そらべあを生みの親である Shinzi Katoh さんもお祝いに駆けつけるなど、特別な日となりました。

そらべあ基金は、そらべあ発電所のさらなる拡大に向け、また多くの子もたちの環境意識を高めるため、今後も引き続き活動していきます。お集まりいただきましたみなさま、また祝福のメッセージをいただきましたみなさま、本当にありがとうございました。

1：そらべあを生みの親である Shinzi Katoh さんとの3ショット / 2：佐藤タイジさんの歌で会場は大盛り上がり。もちろんギターの電源はグリーン電力で！ / 3：物販コーナーでは新作のマスキングテープが大好評！ / 4：今回のパーティーの電力は、グリーン電力証書を使い100%風力発電でまかないました



そらべあ発電所  
50基達成！



## 「株低燃費住宅の取組が 「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」に採択

そらべあ基金が誕生以来、ご支援をいただいている低燃費住宅代表の早田宏徳さんに、住宅分野の省エネルギー化に向けた取り組みについてお話をうかがいました。

省エネ建築に取り組むきっかけは？

早田氏 高性能で長寿命な住宅づくりを目指し、1997年より住宅業界に携って来ました。そんななか転機となったのが2007年。ドイツ在住の環境ジャーナリスト・村上敦さんにフライブルグを案内していただいた際、これまで自分が販売してきた住宅は、ドイツでは省エネ基準に満たない、建ててはいけない住宅だということを知ったのです。その後2008年、日本の家づくり、まちづくりを変えるために、全国から工務店さんや建築設備メーカーなど集め、村上さんと一緒に一般社団法人クラブヴァーバンを設立しました。私自身は当時勤めていた会社から独立し、全国で省エネ建築に関する講演などを行って来ました。

最近の活動を教えてください

早田氏 2013年にドイツ基準を満たす住宅をつくる「株式会社低燃費住宅」を設立し、1年目で60棟を受注しました。2014年には、ドイツで実証されている「プラスエネルギーハウス（消費されるより多くのエネルギーを生み出す住宅）」を高松市に建設しました。今後は、国内では誰も手をつけていない賃貸住宅分野「ゼロエネ

ギーアパート」の建築に踏み込む予定です。この取り組みは、住宅や建築物の省CO<sub>2</sub>化の優れた取り組みを支援する国土交通省の「住宅・建築物省CO<sub>2</sub>先導事業」に採択されました。

早田さんの目標を教えてください

早田氏 私たちだけでは、国内に低燃費住宅の思想を持つ住宅は広がりません。2019年までには「省エネ建築マイスター」を養成する学校を開校したい。この目標を目指し、独立から今に至るまで活動してきました。

そらべあ基金に対してメッセージをお願いします

早田氏 再生可能エネルギーの普及啓発をこれまで以上にがんばってほしいと思います。我々は住宅分野においての省エネルギー化を目指します。「創エネ×省エネ」で、次世代の子どもたちが安心して暮らせる社会をつくりましょう！

株低燃費住宅 <http://tnp.jpn.com/>  
クラブヴァーバン <http://www.club-vauban.net/>





©Shinzi Katoh

1

2

3

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				